

1 テーマ

ICT を活用した音楽科の合同授業～主体的・対話的で深い学びの実現～

2 テーマ設定の理由または、課題

今年度から、本校では音楽科、図工科が体育科に加えて合同授業になった。音楽科では、異学年と一緒に活動することにより、互いに教え合ったり、上の学年の児童が既習の楽曲をもう一度演奏することで、復習になったりよい面がたくさんある。合同授業での、主体的・対話的で深い学びの実現に向けてどのような指導方法があるのか、また、音楽科におけるICTの活用も進めたいと考え、このテーマに設定した。

3 実践内容



・「学習リーダー」

音楽科研究発表会に向けて、発声練習と校歌の練習を毎時間実施している。その際の学習リーダーを5・6年生でローテーションをしている。子供たちは主体的に授業に取り組んだり、校歌に親しんだりすることができた。今後は、校歌以外の歌（今月の歌）なども学習リーダーを取り入れていきたい。



・「グループの演奏を録音提出」

5・6年生の「ボイスアンサンブル」の授業で各グループの演奏を録音して、オクリンクで提出をするようにした。子供たちは、自分たちの声の音量やリズムなどを客観的に聞くことができ、何度も録音をし直していた。また、教員は提出された演奏を再度聞いて、評価もしやすかった。



・「模範の演奏を聞いて自分で実践」

3・4年生の「いろいろな木の実」の打楽器演奏の際に、教師が打楽器の打ち方とリズムを手本で動画にし、オクリンクで児童に送信した。教師の模範の動画を見ながら、異学年の児童と話し合いながら、リズムを繰り返し練習していた。動画があると、何度も確認ができるので、リズムや楽器の使い方の定着が早かった。



・「リコーダー、鍵盤ハーモニカのテスト動画」

学期の最後に、リコーダーや鍵盤ハーモニカのテストを実施する際もオクリンクを使用した。自分で動画を撮り、自分が1番良かったと思う演奏を教師に送信した。グループでの活動と同様、自分の演奏を客観的に振り返ることができ、強弱やリズム、指の使い方などを確認することができた。動画を撮ることによって、さらにいい演奏をしたいとやる気も出てきた。

4 成果と課題

<成果>

毎時間、学習リーダーを作ることで、授業に主体的に参加しようという意欲付けになった。また、ICTを活用（録音、録画）することで、再度自分の演奏を聞くことができ、もっといい演奏がしたいという発言が多く聞かれるようになった。よりよい演奏がしたいという気持ちが高まることで、グループの友達や異学年の児童との対話が深まった。教師側としても、子供たちの実践が録音、録画で蓄積されるため、指導や評価をする際に活用しやすかった。

<課題>

学習リーダーは様々な場面で活躍できるように、今後考えて取り入れていきたい。また、合同授業では、上の学年が既習している内容の場合、待っている時間も多いためどのように交流をしていけるのか検討したい。1学期中はオクリンクのみ使用したが、鑑賞の場面などで、ジャムボードを使用して子供たちの考えの共有などをしていきたい。